

子育て通信

7,8月号

子育て相談室



石井哲夫
子どもの生活研究所所長

発行責任・認可保育所すこやか園
福祉活動センターよろこび

『長女を叱ってしまう私』

(質問)

私は2人の子どもをもつ母親です。上の子はもうすぐ5歳になり下の子は2歳になります。5歳の子どもが、下の子をあやしてくれたり、可愛がってくれる姿を見るときょうだいがいて良かったと思う反面、生活の様々な場面で、こんなこと言ってはいけない、と思いながらも「我慢しなさい」「お姉ちゃんだから...」ということばかり、言ってしまいます。上の子とじっくり遊べる時間をつくってあげたいのですが、夫の帰りが遅く、下の子が寝付いた頃は、溜まってしまった家事を済ませるため、子どもと向き合っただけの時間がなかなかつくれません。

そんな日々の繰り返しですが、子どもは「ママ」と甘えて来てくれることが支えです。今のままの親子関係でいいのか、不安になります。

(答え)

貴女の不安は、貴女の矛盾した心の内面から来るものではないでしょうか。きょうだいいずれも子どもにとってのママである貴女は、上の子と下の子に対していつしか異なった態度をとっていることに気付き、これでは上の子に済まないと思い始めたのではないのでしょうか。特に上の子が5歳、下の子が2歳という年頃では、どうしても下の子に対して手をかけてしまい、上の子に我慢させてしまうことになるでしょうね。

でも「お姉ちゃんだから我慢しなさい」と言ってもいいんじゃないですか。それで育つプライドは、人間として発達の大きな原動力となるものです。ただ、心配されている「愛着の不満」を作らないようにしなければなりません。確かに、貴女のような心配をしている人が多いのです。下の子がいらないようなときに上の子が隙を見て甘えてくると「大きな子がみっともない」と言ったり、もたれかかってくる場合にも、親が照れくさくなって、その子を押し除けたり、「抱っこ」と言っても抱いてあげなかったりするようになるのです。貴女だって上の子もかわいがりたい気持ちがあるでしょう。それをためらわずにはっきりと出すことです。「いつも妹ばかり抱いて、あなたには我慢させてごめんね。」とか「いいわ、うんと抱いてあげるからね。」とか言ってご覧なさい。照れずに親子が1対1で向かい合う時間をとって、キチンと上の子に対しても気持ちを表すことをして下さい。甘えてくる子どもは正常な子で、将来まともに育つ子どもです。ただし、あなたが叱ったり不安に思いすぎなければですよ。

